

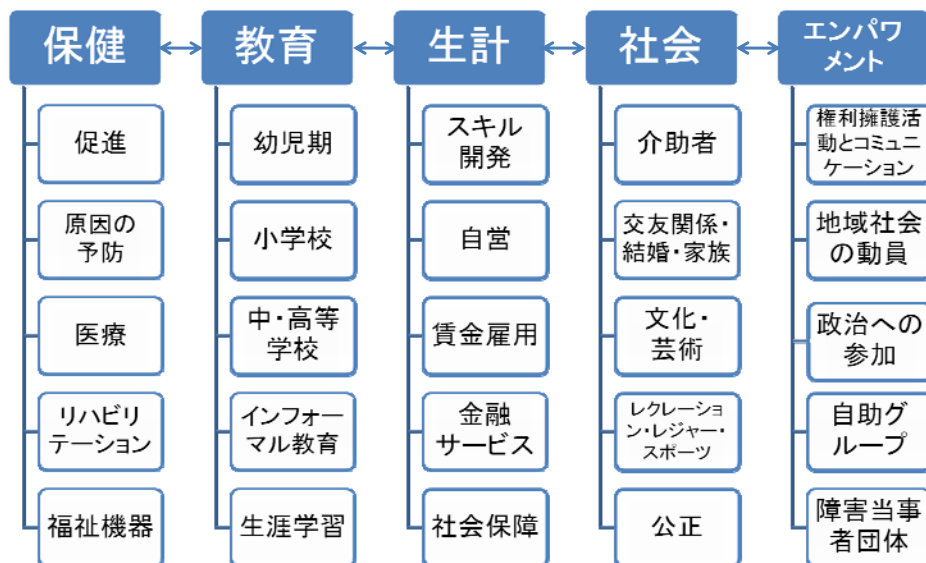
# むそう/ふわりの活動分析 ～当事者のエンパワメントの視点から～

石本 馨

(社)日本作業療法士協会

日本福祉大学アジア福祉社会開発研究センター

## CBRマトリックス



## CBRマトリックスの概要

- CBRを更に広範な多部門的開発戦略へと発展させていくために、2004年にCBRプログラムの共通の枠組みを提供する目的で開発された
- 4領域(保健、教育、生計、社会)は主要な開発部門に関連 =他開発アクターも提供可能なもの
- 1領域(エンパワメント)は障害当事者・家族・地域社会が他開発アクターへのアクセス力・QOL・人権を向上させる力に寄与するもの =CBIDらしさ?
- 全領域網羅を推すのではなく、各プログラムで地域のニーズ、優先順位、リソースに対応した選択ができるよう設計

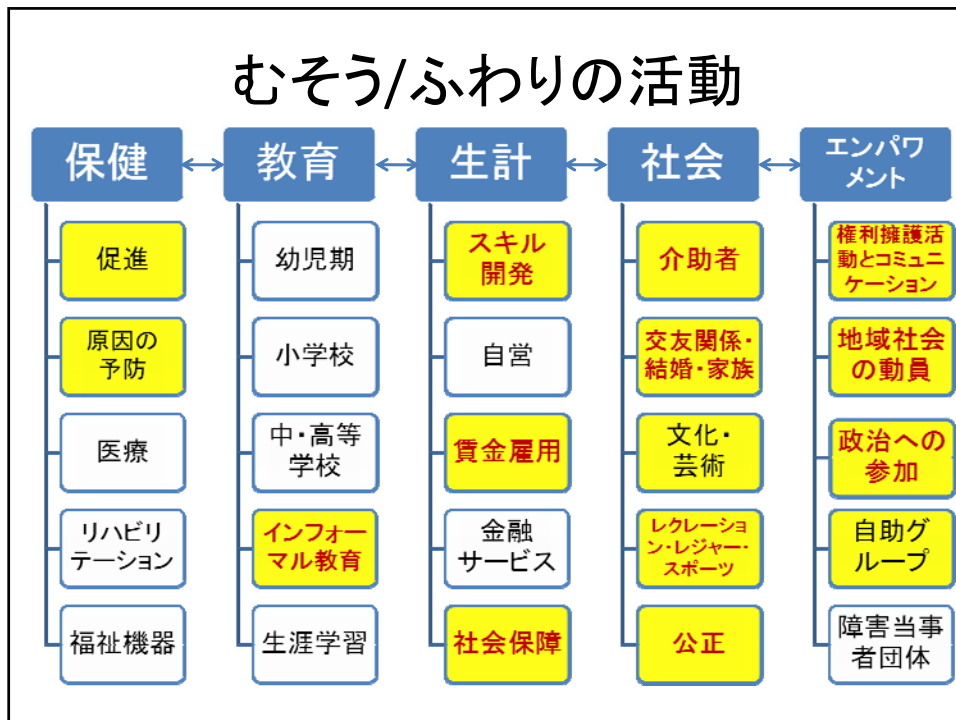
## マトリックスの意義

CBRが多くの部門に着目していることを示す

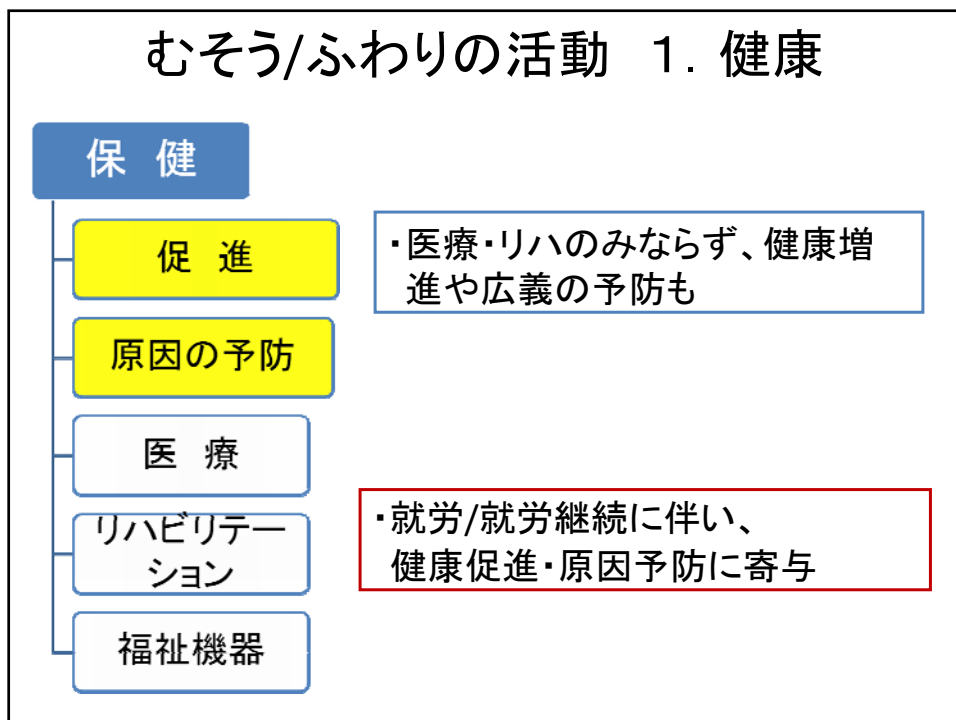
⇒活用方法は？

1. 視覚化することで、保健医療福祉のみならず教育・地域開発分野も関連していることを内外に訴える手段として
2. 各プログラムの現状を把握し、強み/弱点/課題/方向性 等を検討するツールとして

## むそう/ふわりの活動



## むそう/ふわりの活動 1. 健康



## むそう/ふわりの活動 2. 教育

### 教育

幼児期

小学校

中・高等学校

インフォーマル  
教育

生涯学習

・狭義の学校教育のほか、生活技能・人権など、教育場面を通して獲得する知識・技能も含む

・放課後学習・学童保育などのインフォーマル教育を実施  
・学校教育の補完・発達保障、社会生活訓練の場に

## むそう/ふわりの活動 3. 生計

### 生計

スキル開発

自営

賃金雇用

金融サービス

社会的保障

・就労・就労継続のためのスキル獲得  
・MFなど  
・生活保護などの公的サービスや、自助グループなどのインフォーマルな社会サービスも含まれる

・基本的には雇用・被雇用関係はないが、当事者が運営にも参加し、最低賃金の保障を目指している

## むそう/ふわりの活動 4. 社会

### 社会

介助者

交友関係・結婚・家族

文化・芸術

レクリエーション・  
レジャー・スポーツ

公正

・社会と関わる手段確保、社会的役割確立、参加のバリアを排除、不平等の撤廃など

・声を出していくとともに、意識を高めていく

・介助者の提供

・「就労」を通じた社会活動

・地域行事の担い手として貢献

・一般市民と同等の社会活動経験を追求⇒実現へ

## むそう/ふわりの活動 5. エンパワメント

### エンパワメント

権利擁護活動と  
コミュニケーション

地域社会の動員

政治への参加

自助グループ

障害当事者団体

・声を挙げ、思いを表出

・当事者・家族・住民を結び、地域の意識・態度変容をめざす

・ピアサポートで自己効力感も

・声を社会に届けるための組織化

・ミーティングで表出経験

・地域住民を雇用、町内会との関わり、院内カフェ

・選挙権の行使、ロビーイング

・就労場面での自然な助け合い

⇒認められる喜びが活かに

## 考 察 1

- 生活施設(レスパイト・グループホーム)からスタート
- 民家を借りて改築:地域住民との軋轢⇒理解・支援へ
- 無補助の期間が長かった(現在形?) ⇒無償ボランティアの発掘 ⇒結果的には家族・学生・地域住民への啓発、活動の広報、地元への認知に貢献?
- 事業が先にありきではなく、利用者の希望を聞き、それに合わせて事業を作るという方法
- 利用者の障害度としては重度、でも重度に見えない ⇒いわゆる問題行動を「問題」として捉えず、個々人の問題行動を活用した働き方を提案&サポートが落ち着きに

## 考 察 2

- 利用者のために地域住民を巻き込むしかけ(喫茶店での駄菓子販売で子供の居場所づくり、祭りの出店など) ⇒地域の潜在的ニーズを刺激し、地域住民全体の福祉の向上につながったのでは?
- 地域住民からの仕事を下請け(引き継ぎ) Ex.地元の牛舎の餌やり・廃業きこの農家の仕事を譲り受け、当面の指導もしてもらう ⇒地元産業の底支え、住民の生きがい活性化に?
- 障害者関連の事業から一般市民向けの活動にも拡大 ex.学童保育
- のれんわけ制度・他団体とのつながり